

渡辺淳一文学館ドラマティックライブ
山口玲子プロデュース Duo Maturo Concerto XXVIII

音楽に寄せて Vol.2

An die Musik

PROGRAMM

シューベルト
楽に寄す
春への信仰

メンデルスゾーン
ヴェネツィアの舟歌
歌の翼に

ブラームス
恋人への道筋で
五月の夜

やさしい日本の歌
夕焼け小焼け 他

信時 潔
丹沢
沙羅

面白い詩による作品

ハイドン
非常に当たり前なお話

モーツァルト
忠告

ベートーヴェン
接吻

ヴォルフ
ある結婚式で

出演

バリトン
川村 英司
ピアノ
山口 玲子

2024年9月22日(日)

開場 14:30 開演 15:00

入場料 3,000円

会場・ご予約・お問合せ

渡辺淳一文学館

札幌市中央区南12条西6丁目414

TEL: 011-551-1282

駐車場のご用意はございません。
近隣の駐車場が公共交通機関をご利用ください。

主催: 渡辺淳一文学館

企画: 山口玲子

後援: 札幌市・札幌市教育委員会

北海道フーゴー・ヴォルフ協会

Profile

川村 英司

Eishi Kawamura

旭川市出身。戦後初のオーストリア政府給費留学生として、1957年にオーストリア国立ウィーン音楽院に入学。1959年5月戦後復活したウィーンでの第1回「国際ハイドン・シューベルトコンクール」第1位。1959年1月ウィーン楽友協会にてヴェルバ教授の伴奏でヨーロッパ最初のリサイタル開催以来、国内外で演奏会、講習会、レクチャーなどの幅広い活動の他、ドイツ歌曲を中心に作曲者の自筆譜を基にした研究は世界的にも評価されている。武蔵野音楽大学教授を定年退職後、東京ドイツ・リート研究所を設立。日本フーゴ・ヴォルフ協会理事長。北海道フーゴ・ヴォルフ協会顧問。これまでに声楽を庄司りゑ、リア・フォン・ヘッサート、A.フォーゲル、F.グロスマン、W.シュタインブリュック、リートとオラトリオをE.ヴェルバ、F.グロスマン、オペラをJ.ヴィットの諸教授に師事。

山口 玲子

Reiko Yamaguchi

札幌大谷短期大学音楽科ピアノコース卒業。同専攻科、研究科修了。00、北海道文化財団芸術指導者海外派遣事業によりイタリアの各地でコレペティートルとしての研鑽を積む。17、Zagarolo International Music Campus(イタリア)にて公式ピアニストを務める。室内楽、声楽、合唱の伴奏などを中心に幅広い演奏活動を行う。現在、みべ音楽院、RISE音楽院、ヨークカルチャーセンター各講義師。北海道日伊協会理事。札幌音楽家協議会、ハイメスアーティスト、北海道フーゴ・ヴォルフ協会各会員。混声合唱団アゾルピアニスト。Duo Maturo Concerto主宰。



【会場・ご予約・お問合せ】

■ 渡辺淳一文学館 月曜休館 但し、祝日の場合は翌平日休館

Tel : 011-551-1282

受付 : 4~10月 9:30~18:00

11~3月 9:30~17:30

Mail : info.watanabe.bungaku@ac.auone-net.jp

HP : <http://watanabe-museum.com/>

駐車場のご用意はございません。公共交通機関か近隣の駐車場をご利用ください。

